

**Efficacy and Safety of Intravitreal Sirolimus for Noninfectious Uveitis of the Posterior Segment: Results from the Sirolimus Study Assessing Double-Masked Uveitis Treatment (SAKURA) Program.**

Merrill PT, Clark WL, Banker AS, Fardeau C, Franco P, LeHoang P, Ohno S, Rathinam SR, Ali Y, Mudumba S, Shams N, Nguyen QD; Sirolimus Study Assessing Double-Masked Uveitis Treatment (SAKURA) Study Group.

Ophthalmology. 2020 Oct;127(10):1405-1415.

PMID: 32564920. DOI:10.1016/j.ophtha.2020.03.033.

非感染性後部ぶどう膜炎に対するシロリムス硝子体内投与の有効性と安全性: Sirolimus Study Assessing double-masKed Uveitis tReAtment (SAKURA) の結果

この論文は非感染性後部ぶどう膜炎におけるシロリムス硝子体内投与の有効性と安全性を評価したもので、シロリムス(440 µg)硝子体内投与により、最良矯正視力を維持し、眼圧への影響を最小限に抑えながら、眼炎症の改善が得られたことが報告されています。ぶどう膜炎の治療には、現在ステロイドの局所・全身投与、免疫抑制剤や生物製剤の全身投与が用いられていますが、実際には、これらの治療薬を用いても重篤な視力障害に陥る症例が散見されます。また、全身的副作用により治療を中断せざるを得ないことも多く、免疫抑制剤であるシロリムスの硝子体内注射による眼局所での治療が可能となれば、全身への影響を最小限に抑えることができる可能性があり、新規治療薬として今後期待されます。

(担当者: 北海道大学 鈴木 佳代)